

道の駅「くしま」だより

かんしょのおいしさが味わえる POTATO STAND ～ポテトスタンド～



こんにちは。道の駅「くしま」内の『POTATO STAND～ポテトスタンド～』（以下、ポテスタ）を運営している竹原です。

主にヤマダイかんしょを使用した『スイートポテトフライ』を販売させていただいております。

見た目は、いわゆるよくある素揚げ風ですが…。

香ばしい甘い香り、柔らかくてホックホクの食感、焼きいものような甘み！初めて食べるのどこか懐かしさもある『スイートポテトフライ』。ぜひ一度ご賞味ください。

ポテスタの運営はかんしょ農家3人で興した株式会社ベジフーズ串間が行っております。

農家は生産した農産物を農協や市場に出荷します。そのため商品を実際に食べてもらう消費者（お客さま）の感想を聞くことはまれです。

幸い、私たちはポテスタでの対面販売を通じて、お客さまの反応を直接知る機会を得ました。

テイクアウト専門店なのでポテスタに座席はございません。それでも道の駅のベンチや車中で召し上がったお客さまが「おいしかったよ！」「こげんおいしいかんしょ、はじめて食べたわー！」と感想を言いにわざわざ戻って来てくれたりします。お客さまの「おいしい！」の一言が今までの苦労や不安を吹き飛ばし、私たちを勇気づけてくれています。本当にありがとうございます！



10年前に大束のかんしょ農家で農産物加工グループ『ヤマダイフーズ』を立ち上げました。

ヤマダイかんしょの特徴である優しい甘みとホックホク食感が味わえるフライドポテト原料の製造を開始。

市内外の催事イベントに出店し、多くのお客さまから「おいしい！」との好評をいただくようになって「串間市に常設店をオープンさせる」という目標を掲げました。数年後、道の駅「くしま」の建設計画を知り、協議会に参加。計画・準備などを進め、たくさんの方々の協力を得て今年4月に出店開業し、現在に至ります。

道の駅「くしま」がプレオープンして以降、串間市を訪れてくださるお客さまは大幅に増えていると実感しています。今後も道の駅ブランドオープンや東九州自動車道の整備によってさらなる交流人口の増加が見込まれます。道の駅「くしま」を訪れる多くの方にスイートポテトフライをご賞味いただき、「おいしい！」と笑顔になってもらえるよう、スタッフ一同、より一層サービス向上に努めてまいります。今後ともポテスタをどうぞよろしくお願いいたします。

問 道の駅「くしま」
☎72-0800



10月27日～11月9日は秋の読書週間です。毎年、市内の小学生におすすめの本を紹介してもらい、その本を図書館に展示します。普段なかなか手に取らない本も、誰かのおすすめだと手に取ってしまうかも。ぜひ読書の秋をお楽しみください。



将棋は最高の幼児教育！将棋の決まりから駒の使い方、必殺技、戦い方まで、まだ漢字を習っていない子どものために、駒の名前以外はすべてひらがなで、符号を使わずにやさしく説明します。詰将棋も紹介。



愛する人を守ることは罪なのか……。房総沖で男性の遺体が見つかり、失踪した恋人の行方をたどると、関係者として天才物理学者の名が挙がった。草薙は、横須賀の両親のもとに滞在する湯川学を訪ねるが…。



●串間市立図書館
☎ 72-1177
●開館＝午前10時～午後6時
●休館日＝毎週月曜日
●HP＝<https://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html>

新刊情報

- ・ばにらさま (山本文緒／著)
- ・万事オーライ (植松 三十里／著)
- ・フィッシュボーン (生馬 直樹／著)
- ・楽園のアダム (周木 律／著)
- ・喰う淑女二人 (中山 七里／著)
- ・アフター・サイレンス (本多 孝好／著)
- ・炎上フェニックス (石田 衣良／著)
- ・おまえなんか会いたくない (乾 ルカ／著)
- ・ガラスの海を渡る舟 (寺地 はるな／著)
- ・教場 (長岡 弘樹／著)
- ・共犯者 (三羽 省吾／著)



イベント情報

としょかんまつり

図書館で役目を終えた本、各家庭で役目を終えた本を次の読みたい方へつなげます。

●日時：10月31日(日) 午後1時～午後3時

●場所：市文化会館前広場

※雨天時 11月14日(日)同時刻で開催

場所：市中央公民館体育室(旧アクティブセンター)

どうして人は無意識に偏見を持つのか？

8月号では、普段の生活にどんな「アンコンシャス・バイアス」が潜んでいるのかをお伝えしました。

今回はアンコンシャス・バイアスが生み出される要因は何なのか？そして、アンコンシャス・バイアスを無くすにはどうしたらいいのか？についてお伝えします。

アンコンシャス・バイアスとは、自分自身では気付いていない「無意識に偏ったものの見方」ということはお伝えしてきましたが、そもそもそれらを生み出す要因は3つあるとされています。

1つ目は、自分を守ろうとする「エゴ」です。自分を正当化したり、よく見せたいと考えたりすることで、自分にとって心地よい状態を維持したいという、自己防衛の表れになります。

2つ目は、「習慣や慣習」です。慣れ親しんだ慣習や、今まで常識だと思っていたことが、時代や環境の中でのずれが生じているにもかかわらず、それに

気付かないまま行動することで、違和感やストレスを与えることにつながってしまいます。同質性が高かったり、暗黙のルールが強かったりするところほど注意が必要です。

3つ目は、「感情スイッチ」です。それぞれに特有の「こだわり」や「コンプレックス」など、不安感や感情を呼び起こすポイントのことです。この感情スイッチを刺激されると、人は本能的に「自己防衛反応」ととったりするため、平静ではいられなくなってしまいます。それにより自分を守るために、他者や現実を客観的に見ることができなくなったり、時には攻撃的な行動をとったりしてしまうことがあります。

では、これらの要因を踏まえ、私たちの日常生活において、アンコンシャス・バイアスを無くしていくにはどうしたらよいのでしょうか。ここでは、2つのポイントを紹介させていただきます。

1つ目は、「自己認知力を高める」こと

【問い合わせ先】
総合政策課企画係 ☎ 55-1152

です。そもそも人がそれぞれ持っている無意識の偏見や思い込みをすべて解明することは難しいです。ですが、それぞれが自らを客観的に見つめるよう意識することや、自己評価を積み重ねることにより、自己認知を深めることができます。

2つ目は、「背景などへ意識を向ける」ことです。何か判断をしないといけな場面が来たときに、その案件の背景や周りで起きようとしている内容へ意識を向けることにより、ほかの選択肢への気づきがでできます。それにより、よりいい判断ができるようになっていきます。

以上、2つのポイントを挙げましたが、これらを実行するだけでは、アンコンシャス・バイアスを無くすることは難しいとされています。ただ、一人ひとりがこれまで無意識だったものを少しでも意識することにより、無意識の偏見を減らしていけるのではないのでしょうか。